

高病原性鳥インフルエンザに 最大限の警戒を!!

H26.12.25
26-25



* 異常を見つけた場合は 年末年始も迷わず通報!!

中濃家畜保健衛生所 0574-25-3111(代表)へ

閉庁は12月27日から1月4日までですが、守衛に緊急事例である旨を伝えていただくと、家保職員から折り返し連絡を差し上げます。

【可児市の死亡野鳥のウイルス検出概要 (H5N8亜型)】



- 12月12日 死亡野鳥を回収
- 12月16日 遺伝子検査にてA型と判明
- 12月20日 高病原性鳥インフルエンザ H5N8亜型を検出

16日から回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、監視を一層強化中!!

H5N8亜型

- ◆12月16日宮崎県延岡市で肉用種鶏 農場1戸(約4千羽飼養)で発生
- ◆全国5県8例の野鳥等からこのウイルスを検出(他3例が検査中)
- ◆平成26年、韓国において家きんで246件、野鳥で38件確認

日本国内のいたるところに高病原性鳥インフルエンザウイルスが侵入している。
直ぐそこまで危機が迫っていると捉えるべき。



中濃家畜保健衛生所

飼養衛生管理基準を今一度確認してから

良いお年をお迎えください。



特に野鳥に注意！
至急防鳥ネットの確認
修繕をしましょう。

- ◆ 野鳥・野生動物の侵入防止
- ◆ 関係者以外の農場への立入制限
- ◆ 人及び車両の出入りの際の消毒等の徹底
- ◆ 鶏舎周囲の消石灰散布の徹底
- ◆ 鶏舎専用の長靴、衣服の着用
- ◆ **家さんの健康観察、異常の早期発見・早期通報**

これから年末・年始、春節(2月19日)と、
海外との人や物の交流が盛んになります。
例年以上の警戒をお願いします。

【宮崎県での発生状況概要 (H5N8亜型)】

発生場所: 宮崎県延岡市北川町

使用状況: 肉用種鶏(約4千羽飼養)

12月14日 10羽死亡、簡易検査陰性(農協職員)

12月15日 新たに19羽死亡、簡易検査陽性(死亡鶏3羽中3羽)

12月16日 遺伝子検査の結果H5亜型ウイルス確認(疑似患畜)

同 午前2時半 殺処分開始

同 午前9時25分 殺処分終了

同 午後7時30分 埋却終了

12月19日 H5N8亜型と確認

今後の予定(清浄性確認検査で陰性確認の場合)

12月26日 搬出制限区域(半径10Km)の解除

1月 7日 移動制限区域(半径3Km)の解除



【今シーズンの国内における野鳥の検査状況】

【参考】

今シーズンの鳥インフルエンザ検査状況等

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
1	島根県	安来市	渡り鳥糞便	11/3 採取			11/13 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/13 指定 12/19 0 時解除
2	東京都	江東区	ホシハジロ	11/13 回収	陰性	11/17 陽性	11/25 インフルエンザウイルスは検出されず	11/17 指定 11/25 18 時解除
3	宮城県	栗原市	オオハクチョウ	11/19 回収	陽性		11/27 インフルエンザウイルスは検出されず	11/19 指定 11/27 11 時解除
4	千葉県	長生郡長柄町	カモ類糞便	11/18 採取	陽性	11/20 陽性	11/22 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/20 指定
5	鳥取県	鳥取市	カモ類糞便	11/18 採取			11/27 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/27 指定
6	東京都	大田区	ホシハジロ	11/26 回収	陽性		12/4 インフルエンザウイルスは検出されず	11/27 指定 12/4 18 時解除
7	鹿児島県	出水市	マナヅル	11/23 回収		11/27 陽性	11/29 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/27 指定
8	兵庫県	南あわじ市	アイガモ (野生化個体)	11/29 回収	12/1 陽性		12/7 鳥インフルエンザウイルス (H1N1 亜型) と判明	12/1 指定 12/8 11 時半解除
9	鹿児島県	出水市	環境試料 (ねぐらの水)	12/1 採取		12/5 陽性	12/6 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/5 指定
10	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/7 回収	陰性	12/7 陽性	12/10 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/8 指定
11	岐阜県	可児市	オシドリ	12/12 回収	陰性	12/16 陽性	12/20 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/16 指定
12	島根県	出雲市	マガモ	12/16 回収	陽性		確定検査機関で検査中	12/16 指定
13	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/17 回収	12/17 陰性	12/17 陽性	12/19 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	12/17 指定
14	鹿児島県	出水市	オナガガモ	12/20 回収	12/20 陰性	12/20 陽性	確定検査機関で検査中	12/21 指定
15	鹿児島県	出水市	ヒドリガモ	12/20 回収	12/20 陰性	12/20 陽性	確定検査機関で検査中	12/21 指定
16	鹿児島県	出水市	カルガモ	12/21 回収	12/21 陰性	12/21 陽性	確定検査機関で検査中	12/22 指定

中濃家畜保健衛生所

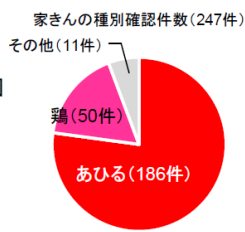
【2014年海外における発生状況（H5N8）】

韓国



【家きんでの発生・対応状況】

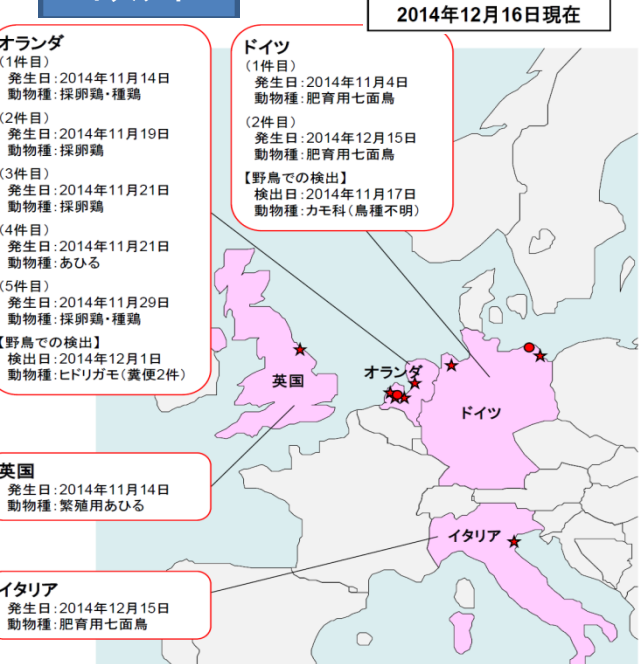
- 発生状況(12月21日時点)
 - ・韓国当局の公表している発生件数: 33件
 - ・他に、発生農場周囲・疫学関連農場等214件でH5N8亜型鳥インフルエンザが確認。
- 殺処分(9月3日時点)
 - ・殺処分完了: 1,396万1千羽(548農家)
 - ・発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(500m又は3km内を対象)
- その他
 - ・9月4日、全ての移動制限が解除されたが、9月24日、2か月ぶりに再発
 - ・9月以降、35件の確認(12月21日時点)



【野鳥での検出・対応状況】

- 野鳥検査(12月21日時点)
 - ・陽性: 39件(トモエガモ10件、マガモ5件、ヒシクイ4件、カルガモ3件、コガモ2件、マガン2件、オオハクチョウ1件、ダイサギ1件、カイツブリ1件、オオバン1件、糞便等9件)
- 対応
 - ・野鳥の検出地点から10km内の家きん農場の移動制限措置、30km内の家きん農場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒

欧州



※低病原性鳥インフルエンザの発生

ドイツ	H5N1	2014. 3. 9
	H5N2	2014.10.7
オランダ	H5N1	2014.2.26
	H5N2	2014.3.12
イタリア	H5,H7,H7N1	2014 上半期

- : 高病原性発生地域
 - ★ : 家きんの高病原性発生地点
 - : 野鳥の高病原性検出地点
- ※ 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

出典: OIE等



その他、米国ワシントン州において野鳥からH5N8が分離されており、世界的に本病がまん延していることが考えられます。
またカナダ及び米国ではH5N2の高病原性鳥インフルエンザが確認されています。

飼養衛生管理基準を守ってみんな笑顔で楽しく正月を迎えましょう。
しかし、異常が認められたら迷わず 0574-25-3111(代表)へダイヤルを!!
中濃家畜保健衛生所